

放送番組審議会議事録

1. 2025年3月27日(木)
2. KTS別館(鹿児島シティエフエム株式会社 2F会議室)
3. 委員総数 5名
出席委員数 4名
出席委員 南徹、中尾成昭、前田真理、堤玲子
放送事業者側出席者 丸山弘樹、山之内美子、内村明香
4. 番組審議
「空とぶTAMAGO～情報宅配便～」
2025.2.20(木) 11:30～13:30 放送分
5. 別紙参照
6. 自社放送 : なし

国際交流センターの役割と現状

- 国際交流センターが多様な国際交流の場として機能している
 - 海外からの訪問者と鹿児島在住の人々との交流促進
 - 研修センター、通訳者、文化紹介（日本のお茶、台湾料理など）の存在
- 番組放送内での国際交流センターに関する好意的な評価
- 鹿児島の地域コミュニティと国際交流の現状、改善すべき点の指摘

放送の構成と演出面

- 声質や話の構成、自然な語り口が聞きやすく好評
- 不必要な雑音が入らない編集方法が、ラジオ独自の魅力を引き出している
- インタビュー形式では質問がなく、ある一人の語りにより情報が伝えられる手法が効果的との意見

番組内容の多角的な切り口

- 山之内さんの英語での発言や、鹿児島弁を交えた語りの好評
- 猫の日、平川動物園のイベント、ビートルズの日の話など、話題の幅広さ
- リスナーからのお手紙やコメントに対する対応の丁寧さについての評価

台湾語表記とその説明の必要性

- 「台湾語」という表現の使い方に関して、台湾の第二外国語としての位置づけの説明不足に対する意見
- 異なる文化・言語背景を持つ用語の正確な扱いについての指摘

鹿児島地域における国際交流の課題と提案

- 鹿児島のパスポート保有率や出国率の低さに対する指摘（全国平均との比較）
- 地元の国際交流や留学生支援（鹿児島ビジターズガイド、留学生会館）の現状と課題
- 奨学金制度や留学生支援のあり方への改善提案
- 国や市、県が関与する国際交流センターの役割分担・管理体制についての混乱

フローリンクや関係団体との連携

- フローリンクの活動と、鹿児島ビジターズガイドとの歴史的な関連性
- 小規模団体で解決が難しい問題に対して、各団体が連携して取り組む必要性

留学生支援と共同住宅の運用

- 鹿児島大学の留学生会館の運用状況と、外国人と日本人の共同居住の可能性
学生寮での留学生サポート体制の紹介
- 日本人と外国人が共に生活することで文化交流が深まるとの提案

インバウンド観光と地域経済

- インバウンド観光客の増加に伴う地元の飲食店、魚市場、観光施設の変化
 - 地元住民も利用しやすい価格設定、観光税の導入などの改善案
- 動物園や水族館の運営についての話
 - 平川動物園、シンガポールのナイトサファリの事例を参考にした施設改善の可能性
- 地域の経済対策と、観光客受け入れ体制のバランスの重要性

動物や文化に関する逸話

- 鹿児島と猫との深いつながり、歴史的なエピソード
 - 猫の日や黒猫にまつわる話題
- 服装指数、各種小話から垣間見える個人的な好みや地域文化への愛着を垣間見ることができました。

文化・宗教に関する議論

- イスラム教の戒律（ラマダン、飲酒・食事の規制）と日本文化、発酵食品との対比
- ユダヤ教の食事制限に関するエピソードや、宗教間の交流の難しさ
- 異文化理解のために、実際に共に生活し交流する必要性についての主張

次回会議の日程調整

- 次回の審議委員会は6月10日に開催予定

放送後の反響と今後の期待

- 多くの話題が盛り込まれ、情報量が豊富でありながらも細部まで丁寧に伝えられている点の評価
- 番組の切り口や構成、ラジオならではの対話形式についての賛辞
- 今後、国際交流や地域文化、施設運営、留学生支援といったテーマで更に深掘りしていくことに期待